

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 戸卓也 健
編集人 森小 林也 健
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2022/11・15

No.2059

第72次兵庫県教育研究集会

地区代表・専門部代表 県教委要請行動を実施!

11月8日、兵教組は県教委に対して、組合員一人ひとりとより届けられた10、835枚の要求書を提出し、地区代表・専門部代表による要請行動をおこなった。

唐津教育次長は冒頭、「皆様方には、兵庫の教育のため、日頃から各種のとりくみにご協力をいただき、また、コロナ禍の厳しい状況にもかかわらず、様々な教育課題にご尽力をいただいていること、この場をお借りして感謝申し上げます」と述べ、「現在、人事委員会からの報告および報告、国や他府県の動向、皆様方からの要求内容などを勘案し、検討をすすめているが、本日の段階では、皆様方にお示しできる具体的な提案

が得られておらず、交渉をおこなう状況には至っていない」とし、現時点の検討状況等についてあきらかにした。

これに対し、小西書記長は「これまでの信頼関係のもと、感染症の影響下における学校現場の実態や、厳しい勤務環境のもとで働く教職員の実態をしっかりと受け止めた上で、今次給与確定交渉への対応をもとめ「と述べた上で、人事委員会の報告・勧告に関わって人事委員会からの口頭伝達事項の確認をもとめた。

わらず、代替教職員が見つからないまま働いていくことには限界がある。何より、学級担任不在では、子どもたちも不安を感じているのではないかと。ハローワークでの求人募集やRestart支援講座・ペーパーチャーター支援講座の開設などをすすめていただいているが、子どもたちや教職員が少しでも安心して学び、働くことができるよう、教職員定数の改善や加配の拡充等、現場の教職員の思いを反映していただきたい。

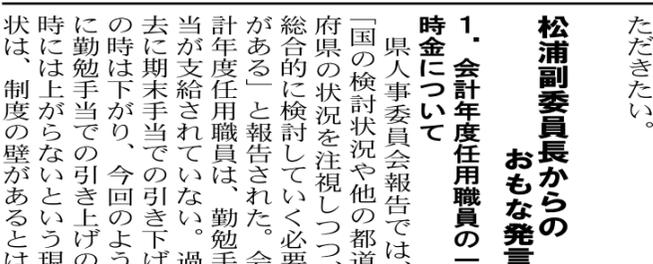
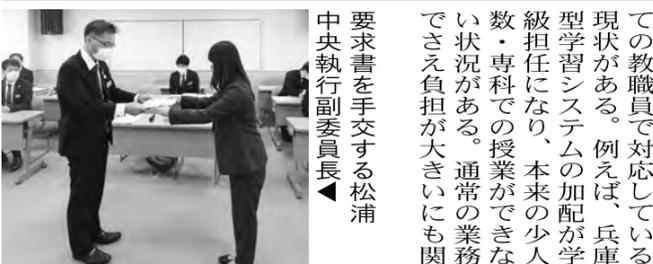
来年度から定年年齢の引き上げが実施されるが、少数職種の教職員の声として、「常勤で働く以外に働き方はないのか」、「親の介護、孫の世話をする年代であり、働きたくても現行の制度では働けない」、「65歳まで、800人規模の子どもを養護教職員1人でみるのは体力的にも精神的にも負担が大きすぎる」、「再任用制度に、短時間制や曜日制など、2人以上で兼任できるようにする任用制度を教職員定数の枠外で県独自の施策を確立してほしい」等がある。今の制度のままでは、経験ゆたかたで貴重な人材を生かすことができない。定年の引き上げにもない多様な働き方が選択できるように、勤務形態を増やしていただきたい。

いえ、こんなに理不尽なことがあってよいのか。今年、他府県の人事委員会勧告を見ると、「期末手当を引き上げることが適当である」と、期末手当での支給についてふれられている府県が複数ある。このような他府県の今後の動向に注視しながら、常勤職員と同様に学校現場を支えている、会計年度任用職員の処遇改善にむけて尽力いただきたい。

冒頭提出させていただいた要求書に込めた組合員の思いや願いを受け止めていただき、必要に応じて、再度、現場代表から直接要請する場を設定していただきたい。

これらの発言に対し、唐津教育次長は「本日の段階で、具体的な回答をお示しすることができない。いただいたご意見は持ち帰り検討したい。ご理解いただきたい」と回答し、要請行動を終えた。

「おきしお守彦」さんは「未来へのまちの扉を開けてもらった。公約を着実に推進していきたい。いい町をつくらせてまいります」と抱負を述べた。



地区代表・専門部代表からのおまな発言

1. 賃金水準の維持・改善について

2. 「教職員の未配置問題」の解消について

3. 教職員の多忙化対策について

4. 定年年齢の引き上げ、定年前再任用短時間勤務制度の導入について

2. 管理職手当の減額措置について

1. 会計年度任用職員の一時金について

松浦副委員長からのおまな発言

太子町長選挙 おきしお守彦さん 初当選!

(一財) 兵庫県学校厚生会 特別貸付 (教育資金) のご案内

【用途】・会員または会員の子が、高等学校以上の入学および在学に要する費用、または予備校に要する費用。
・教育ローン、奨学金の返済。

入 学 在 学 (予備校を含む)	貸付金額 (10万円単位)	10万~200万円	年利 (固定金利) 0.99%
		10万~100万円	
		10万~300万円	
	《添付書類》合格通知書		詳しくはこちら
	《添付書類》在学(籍)証明書		
	《添付書類》残高証明書(貸付額:残高の範囲内)		

第72次兵庫県教育研究集会

いきる つながる みちひらく ~自立と連携・共生の学びと教育~

▶シンポジウムの様子



主催者を代表して、森戸卓也兵庫県教育文化研究所長・兵庫県教職員組合中央執行委員長より、あいさつがあった。(要旨)

来賓として、藤原俊平兵庫教育長よりビデオメッセージによるあいさつをいただき、記念シンポジウム後には、村田かおり教育次長より感想をいただいた。

全体会

11月12日と13日の2日間、第72次兵庫県教育研究集会が開催された。12日は、東播地区8会場で分科会をおこなった。参加者からのレポート報告をもとに、子どもの実態をもとにした実践の交流や、活発な討議がおこなわれた。

13日の全体会は、加東市東条文化会館(コスミックホール)と各地域組合サテライト会場で開催した。(左記参照)

記念シンポジウム

記念シンポジウムでは、コーディネーターに立命館大学・柏木智子さん、シンポジストに若佐佳世子養護教員部長、尼崎市社会福祉事業団・鈴木まやさん、北谷錦也稲美町教育長を招き、「改めて教育の機会均等を問う」くすべての子どもたちのゆたかな学びと育ちのために」と題したディスカッションがおこな

分科会

領域1として「子どもを中心にすえたわかる授業、楽しい学校づくり」に11分科会、領域2として「地域と手をたずさえて 子ども・保護者の願う教育改革」に12分科会と特別分科会「生きる力を育む教育」の24分科会を構成し、分科会から地域教育へと積み上げてきた教育実践を交流し

われた。今回のシンポジウムでは、子どもたちや学校現場の現状を話し合いながら、学校・福祉・行政がどのようにつながっていくかを考え、これからめざすべき兵庫の教育について参加者全員で共有する場となった。(詳細は別号で)



▲分科会 (加古川市・学校厚生会東播活動センター)



▲分科会 (三木市・市民活動センター【分館】)



▲分科会 (加東市・県立教育研修所)



▲分科会 (西脇市・生活文化総合センター ドウジアム)



森戸卓也研究所長・中央執行委員長あいさつ(要旨)

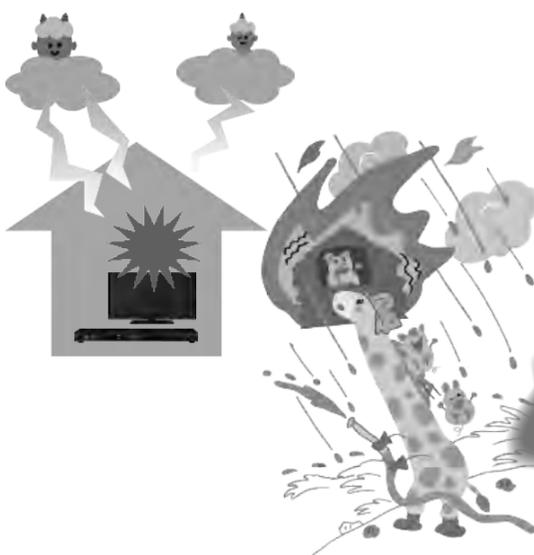
現行の学習指導要領では、2030年を「予測困難な時代」と位置付けていたが、感染症によりその時代は10年も前倒しで訪れた。子どもたちの学びや育つ環境も大きく変化し、貧困の連鎖など、社会全体で

むき合うべき課題が山積している現代社会において、すべての子どもの学習権が保障されているとは言えない状況にある。また学校では、「新しい生活様式」がもたらされ、子どもも職員もさまざまな制約を受けながらの教育活動の展開を余儀なくされている。誰もが経験したことのない状況が続いているからこそ、県内の仲間が集い、思いや願いを共有し、子どもが主体となる創意工夫したとりくみを議論していくことが重要であると考えている。

記念シンポジウムでは、学校現場で大きな課題となっている「ヤングケアラー、子どもの貧困、虐待不登校」等について、「兵教組第6次提言」の中でも提起している、「誰一人取り残されることなく、すべての子どもに寄り添う学校に」、また「貧困の連鎖を断ち切る」という視点のもと、改めて教育の機会均等にむけて、兵庫の子どもたちのための、「兵庫の教育」について参加者の皆さんと共有する場にしたと考えている。

子どもたち一人ひとりの人間の成長をゆたかにほぐくむためには、子どもたちが夢や希望をもって成長できるように、学校、家庭、地域社会、教育関係機関、福祉関係機関等が、互いに連携してとりくむことが重要である。自分の周りには支援を必要としている子どもたちに対して、どのような支援が必要なのか、どことつながれば子どもたちのための支援ができるのかなど、一緒に考える機会として

持ち家の方も、賃貸の方も、家財契約があるか確認しましょう!



家財の備えも重要です!

たとえば落雷で家電が壊れてしまったら... ※建物には損害がなく、家財のみ損害があった場合

家財契約があると

家財契約がないと

火災共済

住宅災害等給付金付火災共済

自然災害共済

※自然災害共済は単独ではご契約いただけません。火災共済と同口数でのセット契約となります。

契約合計口数 × 1,000円
または
実際の損害額
いずれか少ない額が
支払われます。

補償はありません。

教職員共済

〈資料請求・お問い合わせは〉
教職員共済生活協同組合
兵庫県事業所

〒650-0004
神戸市中央区中山手通4丁目
10-8 ラッセホール4F

電話 (078) 221-9730
FAX (078) 221-1199



掛金のお見積りもWEBでカンタン!
https://www.kyousyokuin.or.jp/

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。制度内容をご確認ください。

承 20-56-04 (2007)